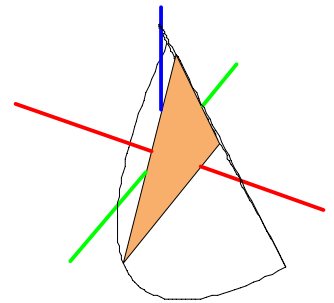


第1話 断面を分析する技術

Exercise 1 2003年信州大学・工学部

xy平面内の放物線 $y = x^2 - 2x - 1$ と直線 $y = -x + 1$ で囲まれた部分を底面とし、x軸に垂直な平面で切り口がつねに正三角形であるような右図の概形をもつ立体の体積を求めよ。



[解答例]

Step 1 ; 断面積を求める。

$$y = x^2 - 2x - 1 \dots$$

$$y = -x + 1 \dots \quad \text{の交点を求める。}$$

$$x^2 - 2x - 1 = 1 - x \text{ を解くと } x = -1, 2$$

$$P(x, x^2 - 2x - 1)$$

$$Q(x, 1 - x)$$

PQを1辺とする正三角形の面積をSとすると

$$S = \frac{\sqrt{3}}{4} PQ^2$$

$$= \frac{\sqrt{3}}{4} \{x^2 - 2x - 1 - (1 - x)\}^2$$

$$= \frac{\sqrt{3}}{4} \{(x+1)(x-2)\}^2$$

Step 2 ; 断面積を積分すると体積を求めることができる。

ベータ関数

$$\int_a^b (x-a)^m (b-x)^n dx = \frac{m!n!}{(m+n+1)!} (b-a)^{m+n+1}$$

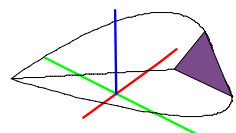
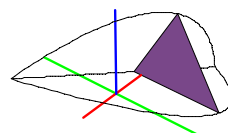
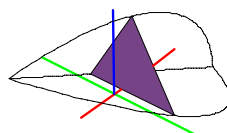
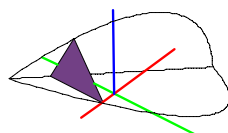
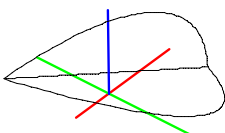
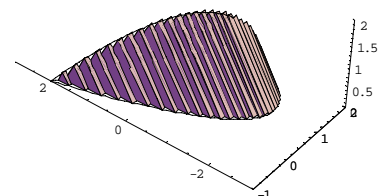
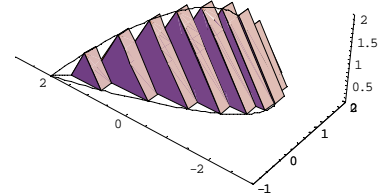
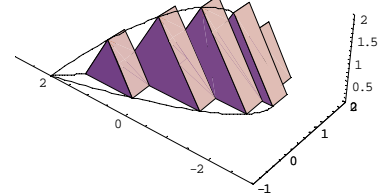
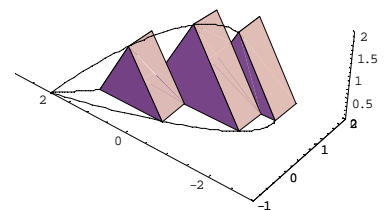
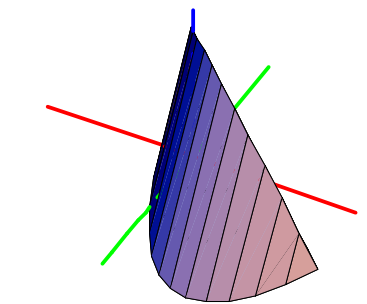
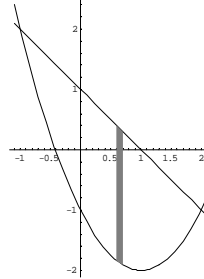
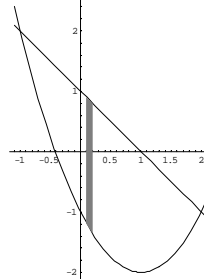
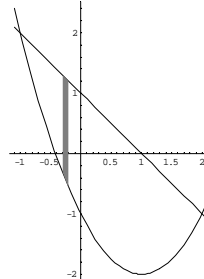
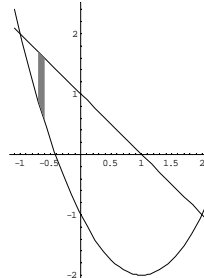
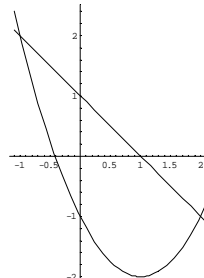
$$V = \int_{-1}^2 S dx$$

$$= \frac{\sqrt{3}}{4} \int_{-1}^2 (x+1)^2 (x-2)^2 dx$$

$$= \frac{\sqrt{3}}{4} \frac{2!2!}{(2+2+1)!} (2+1)^{2+2+1}$$

$$= \frac{81\sqrt{3}}{40} \dots (\text{答})$$

断面積を積分すると体積になる。



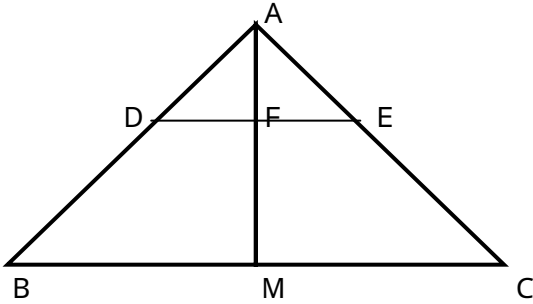
Exercise 2 2004 年札幌医科大学

次のような直円柱 K と三角形 ABC を考える。

直円柱 K は底面の円の半径 1、高さが 2 である。三角形 ABC は $AB=AC$ の二等辺三角形であり、辺 BC の中点を M、 $AM=MC=2$ とする。また点 D、E はそれぞれ辺 AB、AC 上を $AD=AE$ を保ちながら動くとする。三角形 ABC を直円柱 K の側面に辺 AM が母線、辺 BC が底面の周の一部となるようにはり、線分 DE が通過してできる曲面によりこの直円柱を二つの立体に分ける（下図参照）。このとき、点 M を含むほうの立体の体積を求めよ。

[解答例]

Point 1 ; 右図立体を底面に水平に切断する方法



線分 DE と線分 AM の交点を F とする。三角形 ABC を直円柱に巻きつける。

上図の三角形 ADE において、 $DF = \theta$ とおくと

右上図の直円柱を真上から見た切断面（右図）において、弧 $DF = \theta$ となり、扇形 ODF の中心角、 $\angle DOF = \theta$

() $0 < \theta \leq \frac{\pi}{2}$ のとき

扇形 ODE の面積 = θ , $\triangle ODE$ の面積 = $\frac{1}{2} \sin 2\theta$

切断面の面積 $S(\theta) = \theta - \frac{1}{2} \sin 2\theta$

() $\frac{\pi}{2} < \theta < 2$ のとき

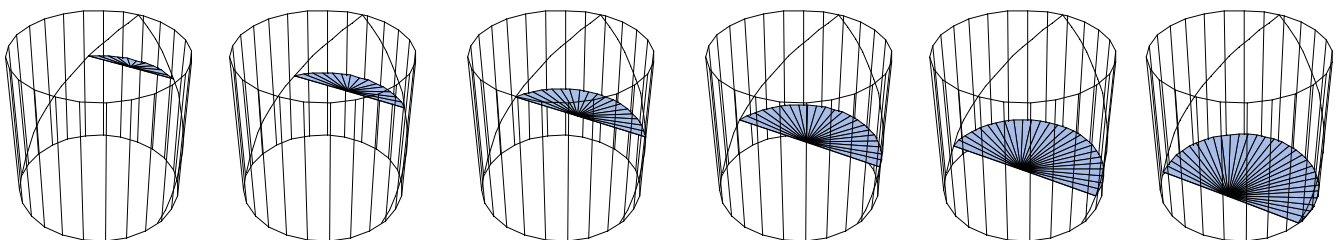
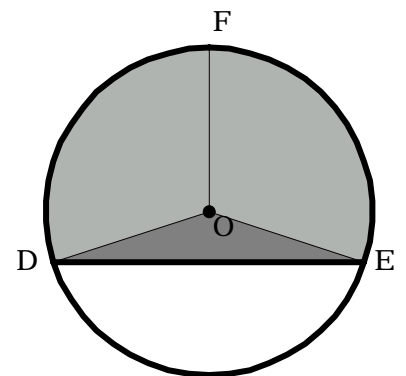
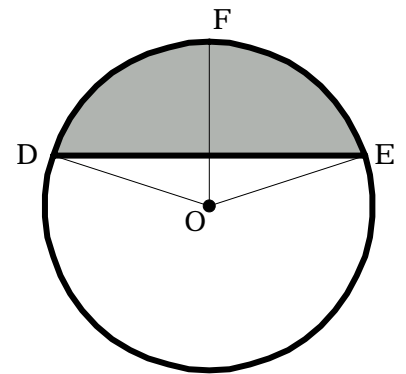
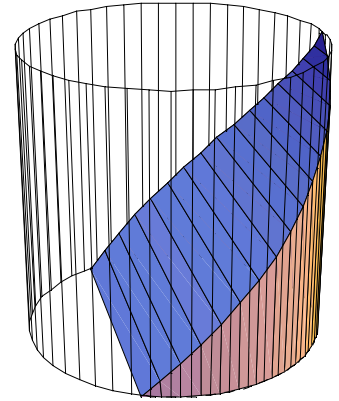
扇形 ODE の面積 = θ , $\triangle ODE = 2\pi - 2\theta$

$\triangle ODE$ の面積 = $\frac{1}{2} \sin(2\pi - 2\theta) = -\frac{1}{2} \sin 2\theta$

切断面の面積 $S(\theta) = \theta - \frac{1}{2} \sin 2\theta$

() () の場合も断面面積は $S(\theta) = \theta - \frac{1}{2} \sin 2\theta$

$$\int_0^2 \left(\theta - \frac{1}{2} \sin \theta \right) d\theta = \left[\frac{\theta^2}{2} + \frac{1}{4} \cos 2\theta \right]_0^2 = \frac{7 + \cos 4}{4}$$



Exercise 3 札幌医科大学2003

Oを原点とするxyz座標空間内に $A\left(\frac{2}{3}, 0, 0\right)$ があり、Pは線分OA上の点とする。次の手順で正三角形SQRを作る。

xy平面上において、Pを通りy軸に平行な直線と放物線 $x = \frac{2}{3} - y^2$ との交点をQ, Rとする。

線分QRを一辺とする正三角形SQRをxy平面に垂直な平面より45°だけx軸の負の方向へ傾けて作る。ただし、Qのy座標が0以下、Sのz座標が0以上となるようにQ, R, Sは定める。

(1) 正三角形SQRがyz平面と共有点をもつときの、Pのx座標の範囲を $0 \leq x \leq a$ とする。aを求めよ。

(2) PがAからOまで動くとき、正三角形SQRが通過するyz平面上的部分の面積を求めよ。

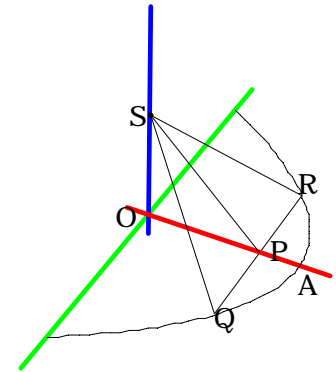
[解答例](1)

Step 1 正三角形SQRの1辺の長さを求める。

線分OA上の点 $P(t, 0, 0)$ ($0 \leq t \leq \frac{2}{3}$) とおくと、 $x = \frac{2}{3} - y^2 \wedge x = t$ を代

入し、 $y = \pm\sqrt{\frac{2}{3}-t}$ $P(t, 0, 0), Q\left(t, -\sqrt{\frac{2}{3}-t}, 0\right), R\left(t, \sqrt{\frac{2}{3}-t}, 0\right)$

正三角形SQRの1辺の長さ $QR = 2\sqrt{\frac{2}{3}-t}$ ($0 \leq t \leq \frac{2}{3}$)



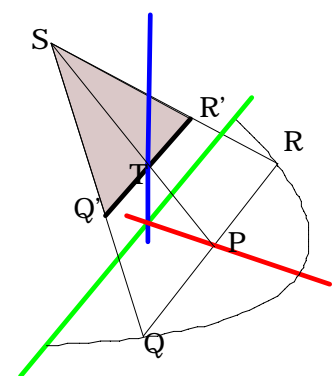
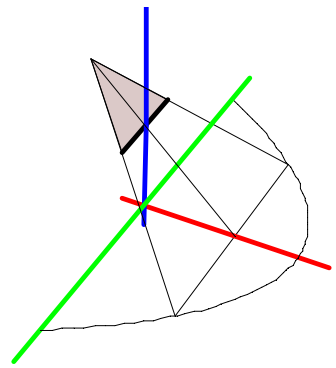
Step 2 正三角形SQRの点Sの座標を求める。

$SP = \sqrt{3}PR \wedge PR = \frac{1}{2}QR = \sqrt{\frac{2}{3}-t}$ を代入し $SP = \sqrt{2-3t}$

点Sからx軸へ垂線を下ろし点S'とする。 $SPO = 45^\circ$ より

$S'P = SP \cos 45^\circ = \frac{1}{\sqrt{2}} \times \sqrt{2-3t} = \sqrt{1-\frac{3}{2}t}$

$OS' = OP - S'P = t - \sqrt{1-\frac{3}{2}t}$ $S\left(t - \sqrt{1-\frac{3}{2}t}, 0, \sqrt{1-\frac{3}{2}t}\right)$



Step 3 点Sのx成分がマイナスになる範囲を求める。

正三角形SQRがyz平面と共有点をもつ

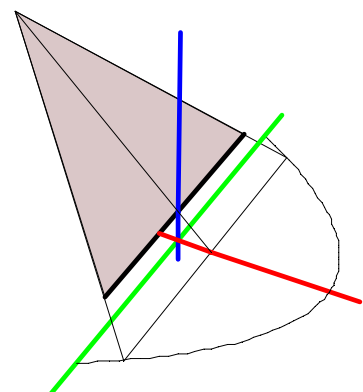


点Sのx成分が負になる

$t - \sqrt{1-\frac{2}{3}t} \leq 0, 0 \leq t \leq \frac{2}{3}$ の共通部分の範囲を求める。 $t \leq \sqrt{1-\frac{3}{2}t}$

$t^2 \leq 1 - \frac{3}{2}t$

$2t^2 + 3t - 2 < 0$

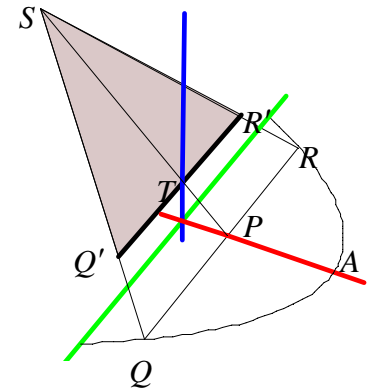
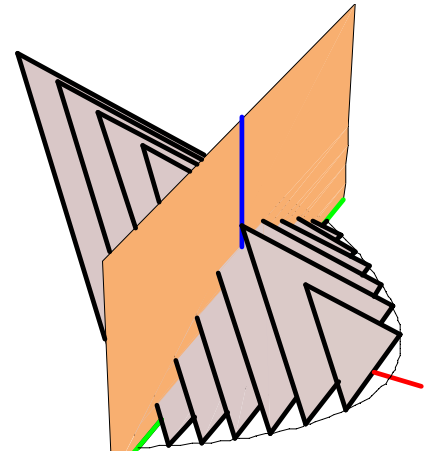
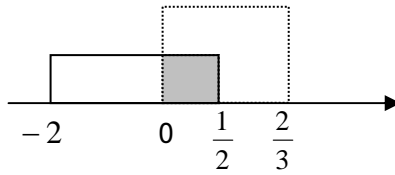


$$(2t-1)(t+2) \leq 0$$

$$-2 \leq t \leq \frac{1}{2}$$

$0 \leq t \leq \frac{2}{3}$ との共通部分を求めると

$$0 \leq t \leq \frac{1}{2} \quad \text{よって} \quad a = \frac{1}{2} \dots (\text{答})$$



(2)

Step 1 線分 Q'R' の長さを t で表示する。

正三角形 SQR において、

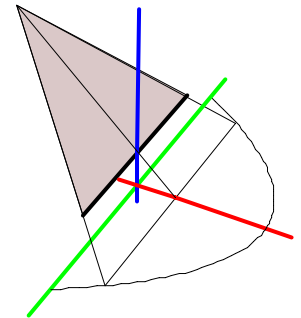
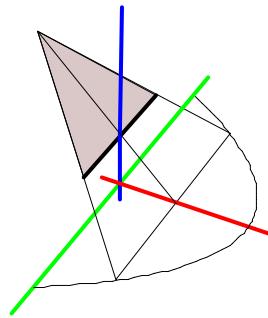
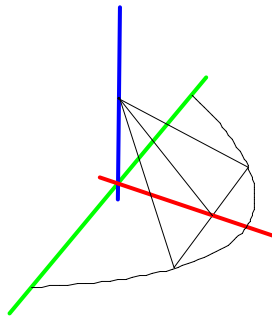
$$SP = \sqrt{2-3t}, TP = \sqrt{2}t \text{ より}$$

$$ST = \sqrt{2-3t} - \sqrt{2}t$$

三角形 STR' は直角三角形であるから

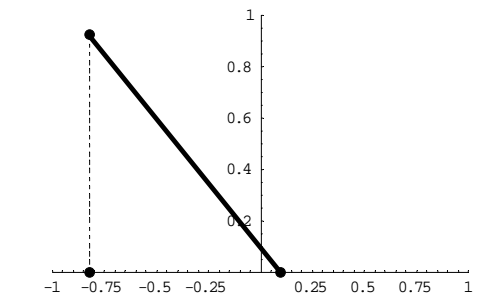
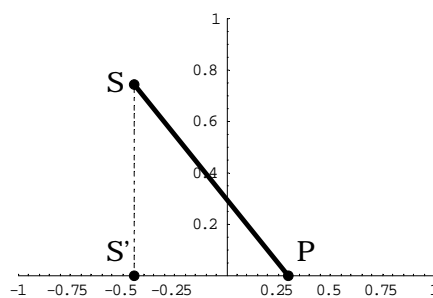
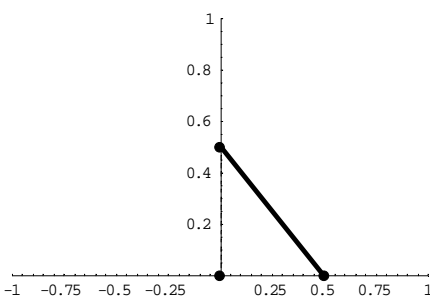
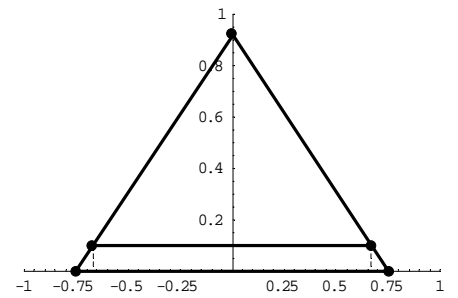
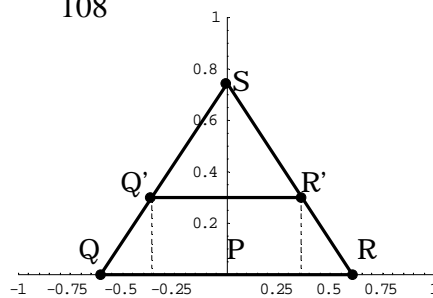
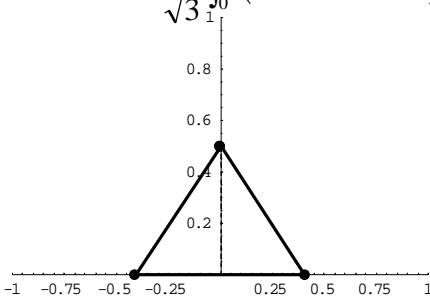
$$TR' = ST \times \tan 30^\circ$$

$$TR' = \frac{1}{\sqrt{3}}(\sqrt{2-3t} - \sqrt{2}t) \quad Q'R' = \frac{2}{\sqrt{3}}(\sqrt{2-3t} - \sqrt{2}t)$$



Step 2 正三角形 SQR が通過する yz 平面上の部分の面積を求める。

$$\text{求める面積} = \frac{2}{\sqrt{3}} \int_0^{\frac{1}{2}} (\sqrt{2-3t} - \sqrt{2}t) dt = \frac{19\sqrt{6}}{108} \dots (\text{答})$$



Exercise 4 回転体の体積 2003 年中部大学

曲線 $y = e^{-x} \sin x$ ($0 \leq x \leq \pi$) と x 軸で囲まれた部分を x 軸のまわりに 1 回転してできる回転体の体積を求めよ。

[解答例]

回転体の体積の公式

$y = f(x)$ のグラフと $x = a, x = b$ ($a < b$) で囲まれた図形を x 軸のまわりに回転してできた立体の体積

$$V = \int_a^b \pi \{f(x)\}^2 dx$$

$$V = \int_0^\pi \pi (e^{-x} \sin x)^2 dx$$

$$= \pi \int_0^\pi e^{-2x} \sin^2 x dx$$

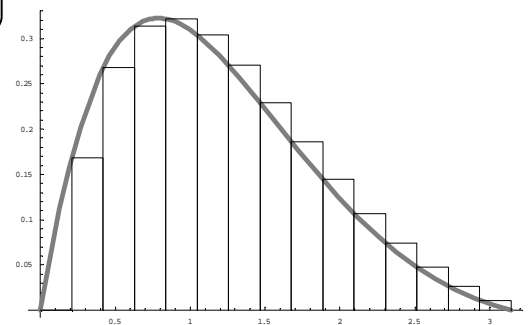
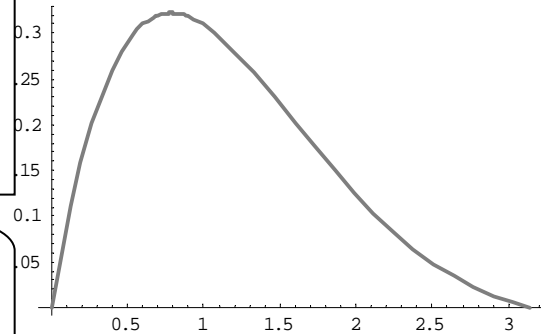
$$= \pi \int_0^\pi e^{-2x} \frac{1 - \cos 2x}{2} dx$$

$$= \frac{\pi}{2} \left(\int_0^\pi e^{-2x} dx - \int_0^\pi e^{-2x} \cos 2x dx \right) \dots (A)$$

倍角公式

$$\cos 2x = 1 - 2 \sin^2 x \text{ より}$$

$$\sin^2 x = \frac{1 - \cos 2x}{2}$$



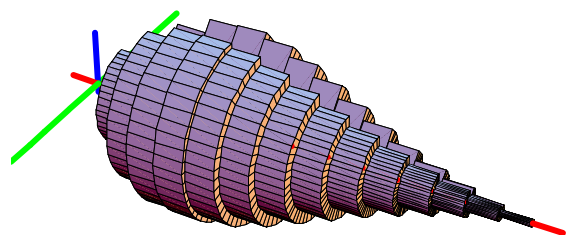
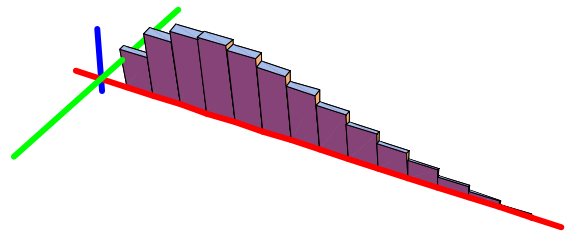
$\int_0^\pi e^{-2x} \cos 2x$ の計算方法

$$(e^{-2x} \cos 2x)' = -2e^{-2x} \cos 2x - 2e^{-2x} \sin 2x \dots$$

$$(e^{-2x} \sin 2x)' = -2e^{-2x} \sin 2x + 2e^{-2x} \cos 2x \dots$$

$$4e^{-2x} \cos 2x = (e^{-2x} \sin 2x - e^{-2x} \cos 2x)'$$

$$e^{-2x} \cos 2x = \frac{1}{4} (e^{-2x} \sin 2x - e^{-2x} \cos 2x)'$$



$$\int_0^\pi e^{-2x} \cos 2x dx = \frac{1}{4} \int_0^\pi (e^{-2x} \sin 2x - e^{-2x} \cos 2x) dx$$

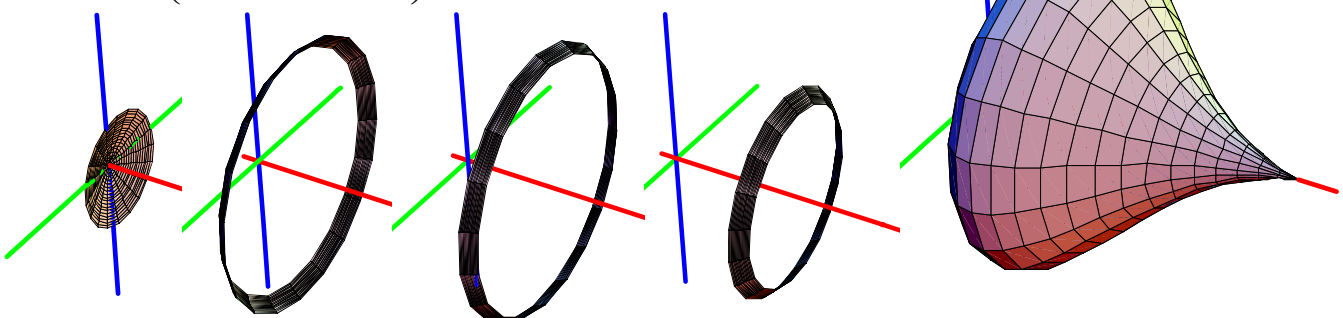
$$= \left[\frac{e^{-2x} \sin 2x - e^{-2x} \cos 2x}{4} \right]_0^\pi = \frac{1 - e^{-2\pi}}{4} \dots$$

$$\int_0^\pi e^{-2x} dx = \left[\frac{e^{-2x}}{-2} \right]_0^\pi = \frac{1 - e^{-2\pi}}{2} \dots$$

を (A) へ代入して

$$(A) = \frac{\pi}{2} \left(\frac{1 - e^{-2\pi}}{2} - \frac{1 - e^{-2\pi}}{4} \right) = \frac{1 - e^{-2\pi}}{8} \pi \dots (\text{答})$$

「玉ねぎ」の体積



Exercise 5 回転体の体積 2003年東京理科大学理工

2つの曲線 $C_1 : y = \sin x$, $C_2 : y = \cos x$ ($0 \leq x \leq 2\pi$) を考える。

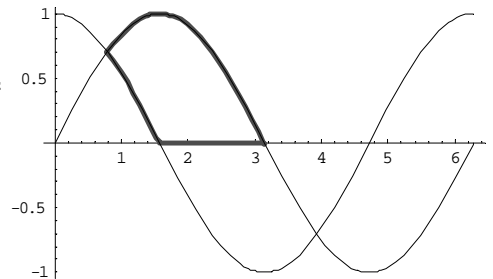
(1) C_1 と C_2 の交点の x 座標を求めよ。

(2) C_1 と C_2 で囲まれた図形の $y \geq 0$ にある部分を x 軸のまわりに1回転してできる立体の体積を求めよ。

〔解答例〕

(1) C_1 と C_2 の交点の x 座標は、 $x = \frac{\pi}{4}, \frac{5\pi}{4}$

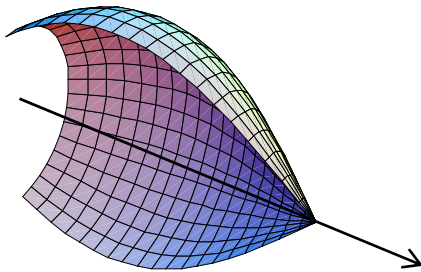
(2) 求める立体は右の太線の部分を x 軸のまわりに回転させたものである。



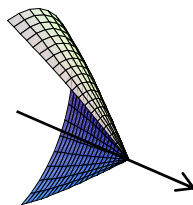
$y = \sin x$ の $\frac{\pi}{4}$ から π までを x 軸のまわりに回転させた立体 Fig 1

$y = \cos x$ の $\frac{\pi}{4}$ から $\frac{\pi}{2}$ までを x 軸のまわりに回転させた立体 Fig 2

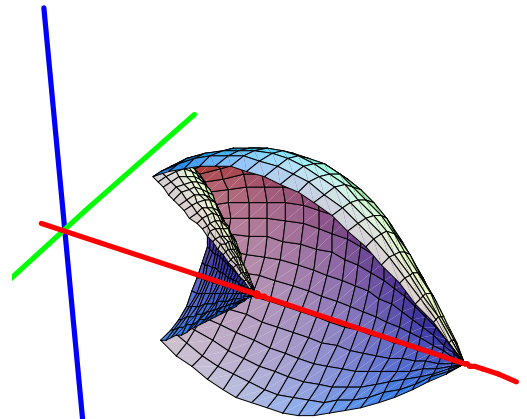
【Fig - 1 の体積】 【Fig - 2 の体積】 = 【求める立体の体積】



【Fig 1】



【Fig 2】



$$\text{求める立体の体積} = \int_{\frac{\pi}{4}}^{\pi} \pi \sin^2 x dx - \int_{\frac{\pi}{4}}^{\frac{\pi}{2}} \pi \cos^2 x dx$$

$$= \frac{\pi}{2} \int_{\frac{\pi}{4}}^{\pi} (1 - \cos 2x) dx - \frac{\pi}{2} \int_{\frac{\pi}{4}}^{\frac{\pi}{2}} (1 + \cos 2x) dx$$

$$= \frac{\pi}{2} \left[x - \frac{1}{2} \sin 2x \right]_{\frac{\pi}{4}}^{\pi} - \frac{\pi}{2} \left[x + \frac{1}{2} \sin 2x \right]_{\frac{\pi}{4}}^{\frac{\pi}{2}}$$

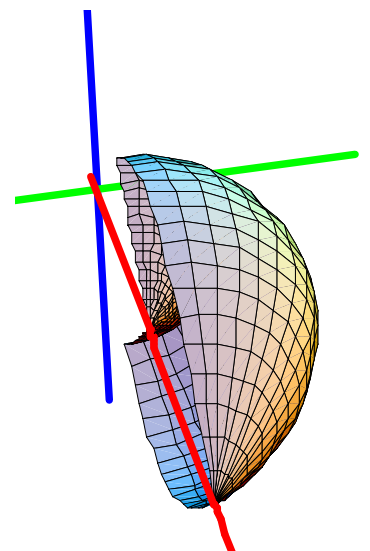
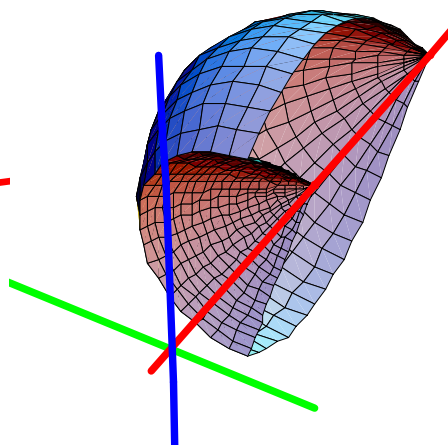
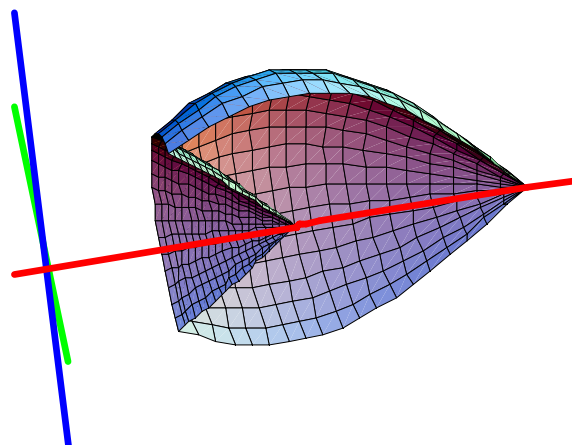
$$= \frac{3}{8} \pi^2 + \frac{1}{4} \pi - \frac{1}{8} \pi^2 + \frac{1}{4} \pi$$

$$= \frac{\pi^2}{4} + \frac{\pi}{2} \cdots (\text{答})$$

$$\sin^2 x = \frac{1 - \cos 2x}{2}$$

$$\cos^2 x = \frac{1 + \cos 2x}{2}$$

を活用せよ。



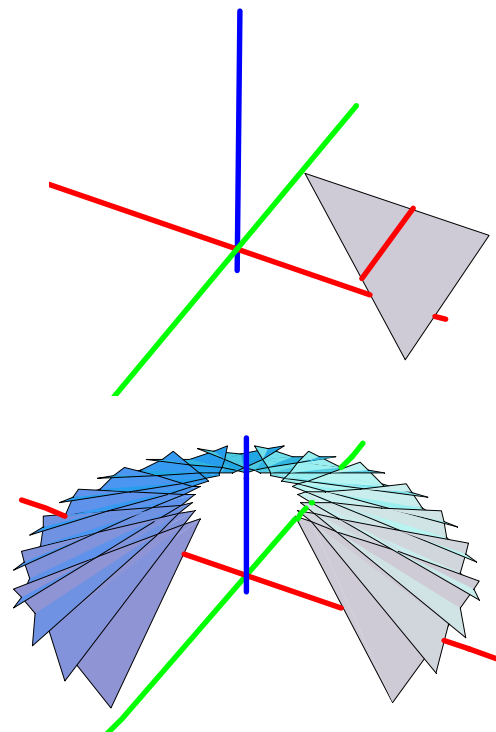
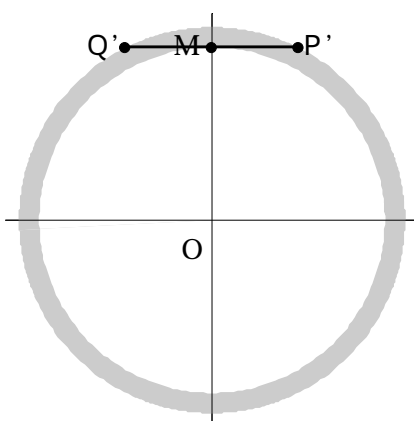
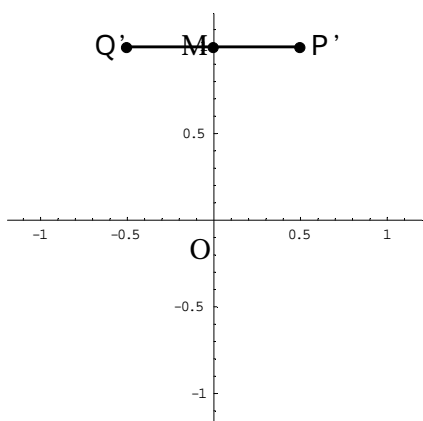
Exercise 6 三角形の回転問題

空間内に、3点 $P\left(1, \frac{1}{2}, 0\right), Q\left(1, -\frac{1}{2}, 0\right), R\left(\frac{1}{4}, 0, \frac{\sqrt{3}}{4}\right)$ を頂点とする正三角形の板 S がある。 S を z 軸のまわりに1回転させたとき、 S が通過する点全体のつくる立体の体積を求めよ。

〔解答例〕

z 軸に垂直な平面 $z=t \left(0 \leq t \leq \frac{\sqrt{3}}{4}\right)$ で正三角形 S を切断し切断面を

考える。線分 $P'Q'$ を z 軸の回りに回転すると、ドーナツ状の断面が完成する。



$$\text{ドーナツ状断面積} = OP'^2 - OM'^2 = (OP'^2 - OM'^2)$$

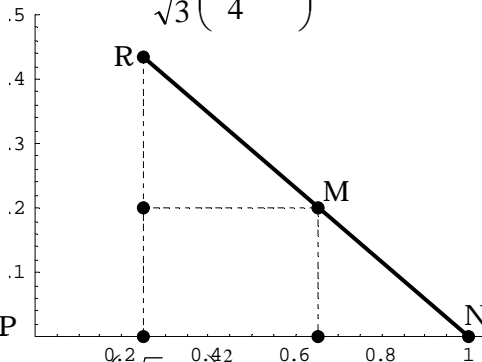
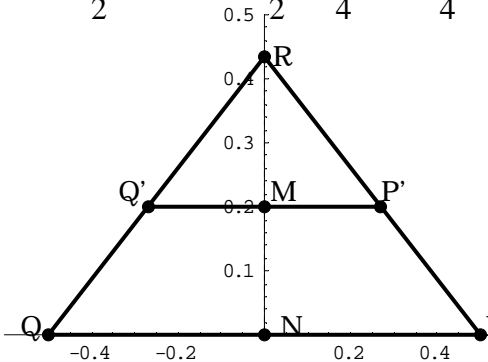
ピタゴラスの定理 $OP'^2 = OM'^2 + MP'^2$ により

$$\text{ドーナツ状断面積} = MP'^2 \dots$$

三角形の相似比を利用する $MP' : NP = RM : RN = \frac{\sqrt{3}}{4} - t : \frac{\sqrt{3}}{4}$

$$NP = \frac{1}{2} \text{ より } MP' : \frac{1}{2} = \frac{\sqrt{3}}{4} - t : \frac{\sqrt{3}}{4}$$

$$MP' = \frac{2}{\sqrt{3}} \left(\frac{\sqrt{3}}{4} - t \right)$$

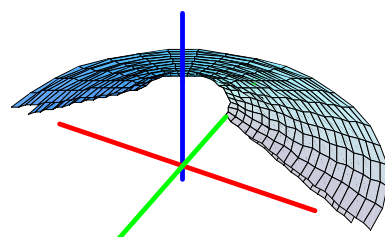
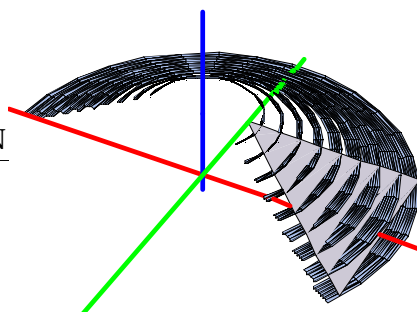
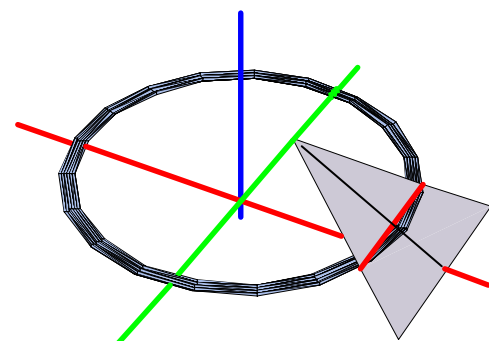


$$\text{ドーナツ状の断面積 } S(t) \text{ とすると } S(t) = \frac{4}{3} \pi \left(\frac{\sqrt{3}}{4} - t \right)^2$$

t の動く範囲が $0 \leq t \leq \frac{\sqrt{3}}{4}$ より、求める体積 V は

$$V = \int_0^{\frac{\sqrt{3}}{4}} S(t) dt = \int_0^{\frac{\sqrt{3}}{4}} \frac{4}{3} \pi \left(\frac{\sqrt{3}}{4} - t \right)^2 dt = \frac{4}{3} \pi \left[\frac{1}{3} \left(t - \frac{\sqrt{3}}{4} \right)^3 \right]_0^{\frac{\sqrt{3}}{4}}$$

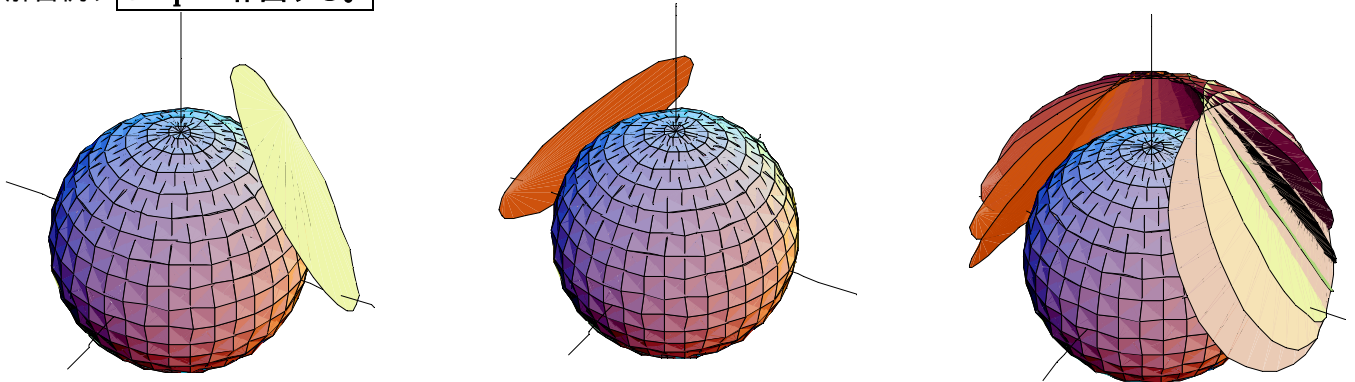
$$= \frac{\sqrt{3}}{48} \pi \dots (\text{答})$$



Exercise 7 円盤の回転に関する問題

z 軸上の点 $A(0,0,2)$ を通る平面 が、原点 O を中心とする半径 1 の球面に接しながら 1 周する (接点を P とすると OP)。このとき、接点 P を中心とする平面 上の半径 1 の円盤が通過する部分を F とする。 F の体積を求めよ。

[解答例] **Step 1 作図する。**



Step 2 回転軸に垂直な平面 $z=t$ による円盤を切断する。

断面積を $S(t)$ とする。

$$S(t) = \pi(TB^2 - TC^2) \dots$$

Step 3 TC と TB を求める。

$$OT = t$$

$$AT = 2 - t, \tan 30^\circ = \frac{TC}{AT} \text{ より}$$

$$TC = (2 - t) \frac{1}{\sqrt{3}} \dots$$

OTB は直角三角形より

$$TB^2 + OT^2 = OB^2$$

$$TB^2 = OB^2 - OT^2 \dots$$

$$\text{より } TB^2 = 2 - t^2 \dots$$

より

$$S(t) = \pi(TB^2 - TC^2)$$

$$= \pi \left(-\frac{4}{3}t^2 + \frac{4}{3}t + \frac{2}{3} \right)$$

$$= -\frac{4}{3}\pi \left(t^2 - t - \frac{1}{2} \right)$$

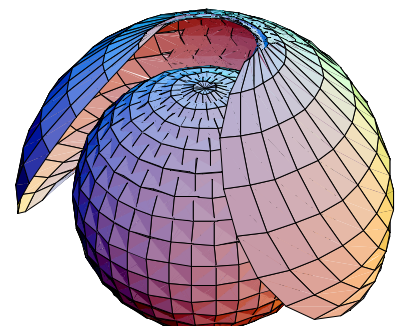
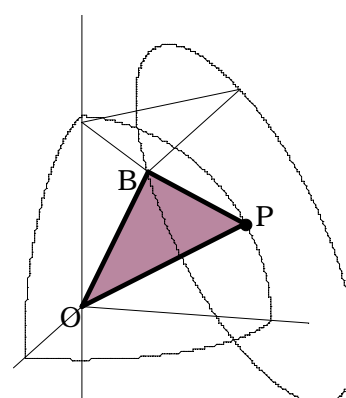
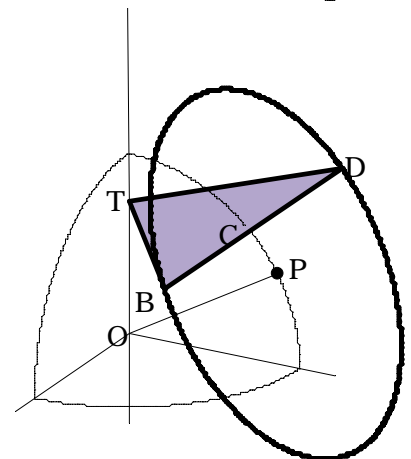
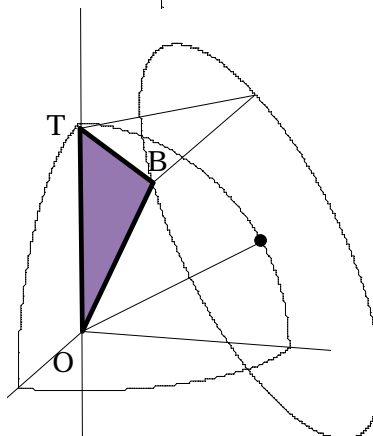
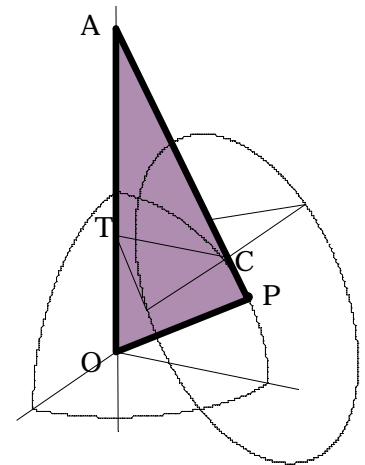
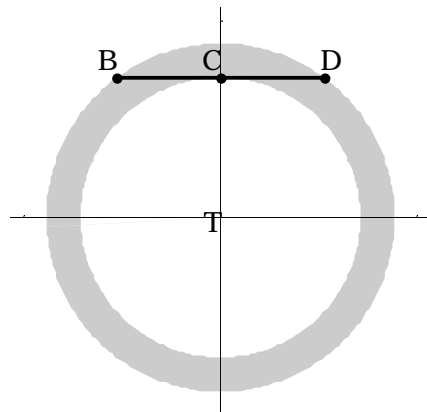
OPB は直角三角形より

$$OB^2 = BP^2 + OP^2$$

$$OP = 1, BP = 1 \dots$$

$$OB^2 = 2$$

$$OB = \sqrt{2}$$



Step4 図より t の範囲を求める。

$$\frac{1}{2} - \frac{\sqrt{3}}{2} \leq t \leq \frac{1}{2} + \frac{\sqrt{3}}{2}$$

Step5 断面積より体積を求める。

$$\begin{aligned} V &= \int_{\frac{1}{2} - \frac{\sqrt{3}}{2}}^{\frac{1}{2} + \frac{\sqrt{3}}{2}} S(t) dt \\ &= \int_{\frac{1}{2} - \frac{\sqrt{3}}{2}}^{\frac{1}{2} + \frac{\sqrt{3}}{2}} \frac{4}{3} \pi \left(t^2 - t - \frac{1}{2} \right) dt \end{aligned}$$

Point $\int_{\alpha}^{\beta} (x - \alpha)(x - \beta) dx = -\frac{1}{6}(\beta - \alpha)^3$ を活用する。

$$t^2 - t - \frac{1}{2} = 0 \text{ とおくと } 2t^2 - 2t - 1 = 0$$

$$t = \frac{1}{2} \pm \frac{\sqrt{3}}{2}$$

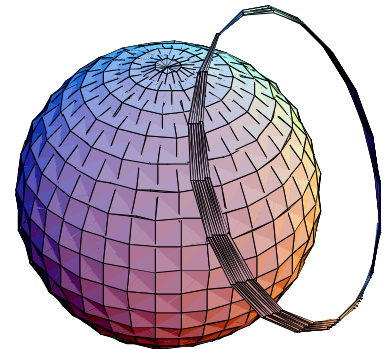
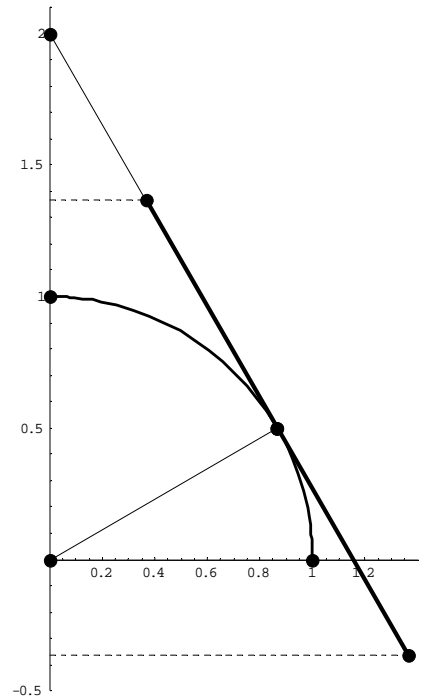
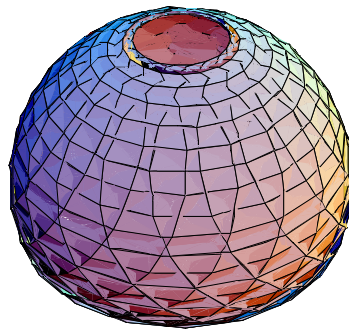
$$\beta = \frac{1}{2} + \frac{\sqrt{3}}{2}, \alpha = \frac{1}{2} - \frac{\sqrt{3}}{2}$$

$$\int_{\alpha}^{\beta} (t - \alpha)(t - \beta) dt = -\frac{1}{6}(\beta - \alpha)^3 = -\frac{1}{6} \left(\frac{1}{2} + \frac{\sqrt{3}}{2} - \frac{1}{2} + \frac{\sqrt{3}}{2} \right)^3$$

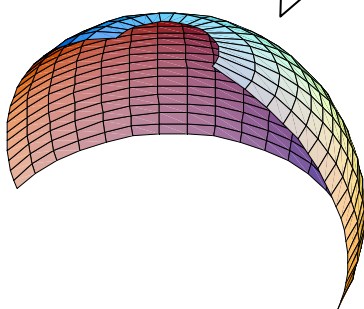
$$= -\frac{1}{6}(\sqrt{3})^3 = -\frac{\sqrt{3}}{2}$$

$$V = \frac{4}{3} \pi \times \frac{\sqrt{3}}{2} = \frac{2\sqrt{3}}{3} \pi$$

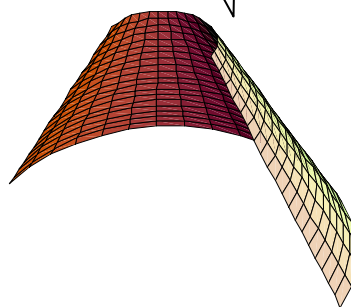
海栗の形みたい



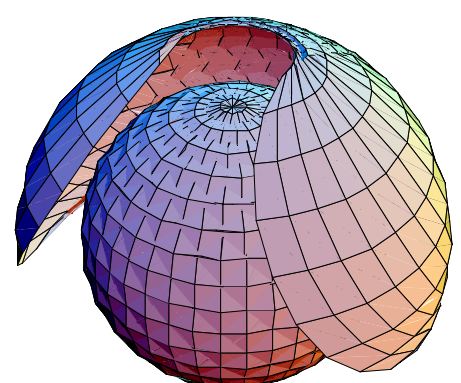
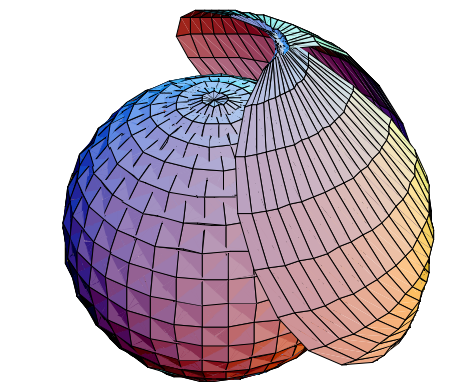
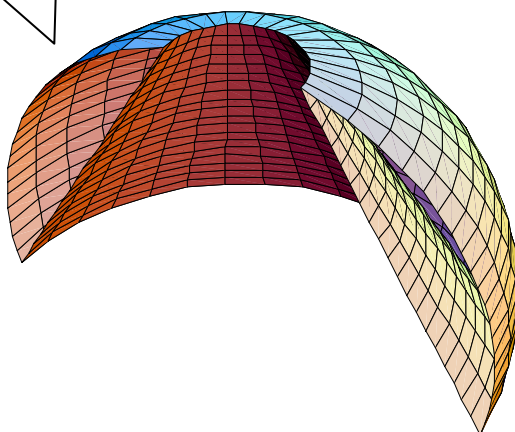
外側の形



内側の形



外側と内側の合体形



第3話 バウムクーヘン型体積

Exercise 8 2003年信州大学

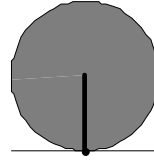
媒介変数 θ で表されたサイクロイド $x = a(\theta - \sin \theta)$, $y = a(1 - \cos \theta)$ ($0 \leq \theta \leq 2\pi$) と x 軸とで囲まれた図形を、 y 軸のまわりに回転してできる立体の体積を求めよ。ただし、 a は正の定数とする。

〔解答例その1〕教科書とおり、体積を求め正面突破を試みる。

() $\pi a \leq x$ のとき (大きい回転体の体積 V_1)

$$V_1 = \int_0^{2a} \pi x^2 dy = \int_{2\pi}^{\pi} \pi x^2 \frac{dy}{d\theta} d\theta$$

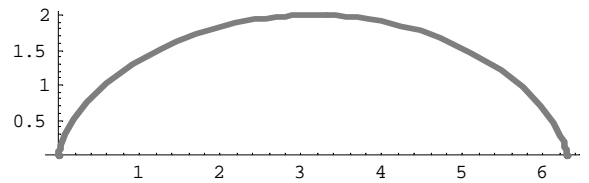
x	0	$2a$
θ	2	



() $x \leq \pi a$ のとき (小さい回転体の体積 V_2)

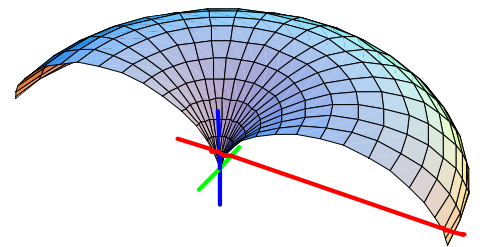
$$V_2 = \int_0^{2a} \pi x^2 dy = \int_0^{\pi} \pi x^2 \frac{dy}{d\theta} d\theta$$

x	0	$2a$
θ	0	



求める立体の体積 V とすると

$$\begin{aligned} V &= V_1 - V_2 = \int_{2\pi}^{\pi} \pi x^2 \frac{dy}{d\theta} d\theta - \int_0^{\pi} \pi x^2 \frac{dy}{d\theta} d\theta \\ &= - \int_{\pi}^{2\pi} \pi x^2 \frac{dy}{d\theta} d\theta - \int_0^{\pi} \pi x^2 \frac{dy}{d\theta} d\theta = - \int_0^{2\pi} \pi x^2 \frac{dy}{d\theta} d\theta \\ &= - \int_0^{2\pi} \pi a^3 (\theta - \sin \theta)^2 \sin \theta d\theta \end{aligned}$$



パップス・ギュルダンの定理 (Pappus-Guldin)

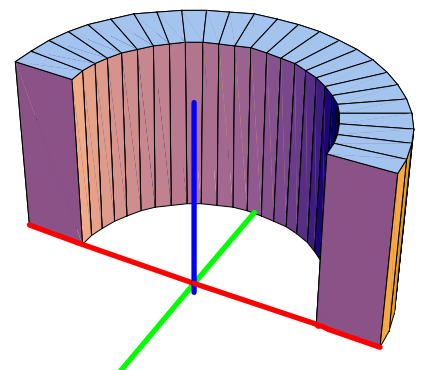
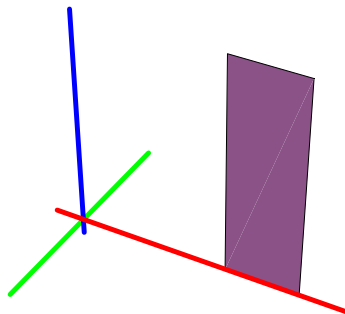
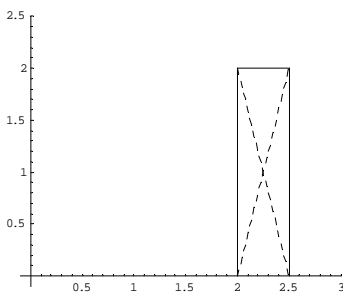
平面上に面積 S の図形 D と直線 l がある。 D の重心 G と l との距離を L とする。 l が D の内部を通らないとき、 D を l のまわりに1回転してできる立体の体積 V は

$$V = 2\pi L \times S$$

バウムクーヘン型立体の体積

$$V = 2\pi \int_a^b x f(x) dx$$

長方形 $ABCD$ を y 軸のまわりに回転してできるパイプ状の立体〔右下図〕の体積 δV とする。



パップス・ギュルダンの定理より

$$\delta V = 2\pi \left(x + \frac{\delta x}{2} \right) \times \delta x \times f(x) = 2\pi x f(x) \delta x + \pi f(x) \delta x^2$$

$$\frac{\delta V}{\delta x} = 2\pi x f(x) + \pi f(x) \delta x \quad \text{分割を細かくすると } \delta x \rightarrow 0$$

$$V = 2\pi \int_a^b x f(x) dx$$

**バウムクーヘン型
立体の体積**

[解答例その 2]

このバウムクーヘン型の公式を利用してみよう。

$$V = 2\pi \int_0^{2\pi} x y dx = 2 \int_0^{2\pi} a(\theta - \sin \theta) a(1 - \cos \theta) \frac{dx}{d\theta} d\theta$$

$$= 2a^3 \pi \int_0^{2\pi} (\theta - \sin \theta)(1 - \cos \theta)^2 d\theta$$

この計算も**難**しい

[解答例その 3]

パップス・ギュルダンの定理を利用する方法。

断面積 $S = (x_2 - x_1) dy$, サイクロイドの対称性より $\frac{x_2 + x_1}{2} = \pi a$

重心 G と回転軸である y 軸との距離 L は、 $L = \pi a$

長方形 ABCD を y 軸のまわりに回転してできる立体の体積 δV とする。

パップス・ギュルダンの定理より、

$$\delta V = 2\pi L \times S = 2\pi^2 a S = 2\pi^2 a (x_2 - x_1) dy \dots$$

$$V = 2\pi^2 a S = 2\pi^2 a \int_0^{2\pi} y dx$$

$$= 2\pi^2 a \int_0^{2\pi} y \frac{dx}{d\theta} d\theta$$

$$= 2\pi^2 a \int_0^{2\pi} a^2 (1 - \cos \theta)^2 d\theta$$

$$= 2\pi^2 a^3 \left[\frac{3}{2} \theta - 2 \sin \theta + \frac{1}{4} \sin 2\theta \right]_0^{2\pi}$$

$$= 6\pi^3 a^3 \dots (\text{答})$$

以降の別解 左右対象性に注目して、 $x_2 - x_1 = 2\pi a - 2x_1$

$$\delta V = 2\pi^2 a \{ 2\pi a - 2x_1 \} dy, \quad x_1 = a(\theta - \sin \theta) \text{ を代入して}$$

$$= 4\pi^2 a^2 (\pi - \theta + \sin \theta) dy, \quad y = a(1 - \cos \theta) \text{ より } dy = a \sin \theta d\theta$$

$$= 4\pi^2 a^3 (\pi - \theta + \sin \theta) \sin \theta d\theta$$

$$= 4\pi^2 a^3 (\pi \sin \theta - \theta \sin \theta + \sin^2 \theta) d\theta \dots$$

$$\int_0^\pi \sin \theta d\theta = [-\cos \theta]_0^\pi = 2$$

$$\int_0^\pi \theta \sin \theta d\theta = [-\theta \cos \theta]_0^\pi + \int_0^\pi \cos \theta d\theta =$$

$$\int_0^\pi \sin^2 \theta d\theta = \int_0^\pi \left(\frac{1}{2} - \frac{1}{2} \cos 2\theta \right) d\theta = \left[\frac{1}{2} \theta - \frac{1}{4} \sin 2\theta \right]_0^\pi = \frac{\pi}{2}$$

へ代入して

$$V = \int_0^\pi 4\pi^2 a^3 (\pi \sin \theta - \theta \sin \theta + \sin^2 \theta) d\theta = 4\pi^2 a^3 \times \frac{3\pi}{2}$$

$$= 6\pi^3 a^3 \dots (\text{答})$$

